

【施設状況】

グループ名称	信更公民館										
指定管理者名	信更地区住民自治協議会						法人番号	3700150020765			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副							
構成施設	3304	信更公民館									
	3160	信更公民館高野分室									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	講義室 1、和室 1、調理室 1、大会議室 1、図書室 1										
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。										
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講座の実施</li> <li>・講演会</li> <li>・展示会の開催</li> <li>・図書等を備えその利用を図る</li> <li>・貸館事業</li> </ul>										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>・管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画が全て実施されない</li> <li>・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	信更地区住民自治協議会				当該指定管理者の 指定回数	2 回
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成27年4月1日
指定 管理 者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
		利用者数	人	5,167	4,470	2,545	2,413	95%	3
		利用率	%	14	11	6	6	98%	
		分室利用者数	人	902	902	24	81	338%	
		分室利用率	%	1	1	0	0	#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和3年度】新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」適用のため、公民館(1月28日～3月6日)は休館とした。開館時も感染対策のため、教室の収容人員を制限したと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・信更公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・信更公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務 ・信更公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 4回/年 発行。ホームページの更新で情報発信を行い、公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、チラシを作成して全戸配布 11回/年、来館者への積極的な声掛けを行い新規利用者の増加につなげた。 ・来館者への積極的に声掛けし、図書室や講座への勧誘を行った。							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者へは、利用簿への記載箇所を設けるとともに返却時等に聞き取りを実施した。		
(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座 28講座(28回) 講座参加者数 1,207人 うち アンケート回答者数 396人 満足 90.4% やや満足 8.8% やや不満 0.8%			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 「チーズ料理とチーズのお話」 地域に移住してきた方を講師とした今までに無い内容の講座。温かいうちに試食できるよう講座の進め方を工夫して開催した。普段なじみのない様々なチーズを見たり調理法を教わり、興味深い内容だったことや地域の人材への関心が高まったと好評であった。「菊の学園」地域に在住している方を講師とし、信更小学校の音楽会に飾る菊を児童が育てる小学校と公民館の連携事業。地元の方と児童が菊をとおして交流し、花が咲いた時の喜びを一緒に味わうことができたと好評であった。 「ふるさとウォーキング」 地域の名所旧跡を小学校全校児童と巡る。児童と地域住民が混合でグループを作りウォーキング、一緒にお弁当を食べるなど交流を深めた。互いに元気をもらったと好評であった。		4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 A.利用する講座が多く、大会議室を仕切り事前に暖房も入れ暖めて講座を開催したが、受講生から寒いと言われた。 B.コロナ禍で初めての料理教室試食時に黙食としたところ、シーンとして寂しかったので音楽でも流した方が良いのではと提案があった。		
<<対応措置>> A.ストーブを直に運び暖めたら、部屋も暖かくなった。 B.その後は試食時間の長い料理教室は無かった。今後試食がある講座の開催時は、必要なコロナ対策を含め様子を見ながら対応する。			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	19,000	利用料金	15,912	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	12,241,000	指定管理料	12,241,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料	0	委託料	0	歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等	0	販売収入等	0		貸付料		貸付料	
	その他収入	12,000	その他収入	14,329		その他		その他	
	計	12,272,000	計	12,271,241		計	0	計	0
収入	人件費	6,883,000	人件費	6,805,029	歳入	指定管理料	12,241,000	指定管理料	12,241,000
	設備管理費	963,000	設備管理費	1,487,245		委託料	104,940	委託料	
支出	備品購入費	0	備品購入費	0	歳出	需用費		需用費	
	修繕費	300,000	修繕費	536,910		役務費		役務費	
	光熱水費	895,000	光熱水費	998,317		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	821,000	事業費	644,800		修繕費		修繕費	
	事務経費	1,760,000	事務経費	1,501,289		工事請負費		工事請負費	
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費		備品購入費	
	その他	650,000	その他	557,600		その他		その他	
	計	12,272,000	計	12,531,190		計	12,345,940	計	12,241,000
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		-259,949	差引		-12,345,940		-12,241,000
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									54.3%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(0人)、主事1人(1人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	1 地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 2 地公委員会の事務局として地域公民館の要となり、地域公民館の相談に対応し連携を図る。 3 住自協の他の団体と共催して事業を行い、地域全体と連携を図る。 4 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 5 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 <b>66</b>	
施設の有効活用	3	12		
利用者評価	4	16		
事業収支	3	6		
管理運営全般	3	12		
危機管理体制	3	6		
地域連携	4	8		

評価理由

・施設利用者は、2,413人で令和2年度2,545人と比較すると94.8%に減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。  
 【利用者評価を4とした理由】  
 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、館内の清掃を念入りに行い利用者から喜ばれていること。中山間地と高齢化のため公民館への交通手段が無いという実情に対し、他の行事や会議などの日に合わせて講座を開催することで改善を図ったことを評価した。  
 【地域連携を4とした理由】  
 ・地元小学校と連携した講座や親子で参加できる講座を実施した。  
 ・「星を観る会」、「ホテル観賞会」など、地域資源を活用した講座(事業)を実施した。  
 ・信更町への移住者の経験とスキルを活かしたチーズ料理や色鉛筆画講座を新たに実施し、講師と地域住民とを繋げた。また、地元の講師、地元の材料の活用が多かった。  
 ・地域の世代間交流や地域を知る講座を企画、実施し多くの講座で好評を得たことを評価した。

取組み・改善案等 (施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。  
 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。  
 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・公民館報 4回/年 発行。ホームページの更新で情報発信を行い、公民館活動の広報に努めた。
- ・講座の開催等は、チラシを作成して全戸配布 11回/年、来館者への積極的な声掛けを行い新規利用者の増加につなげた。
- ・来館者への積極的に声掛けし、図書室や講座への勧誘を行った。

② 業務の効率化に対する取組み

職員全員での情報共有により、講座運営と利用者との連絡をスムーズに行った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・コロナ禍での住民の交流事業開催の支援や管理の仕方。特に接触を伴う運動等。
- ・中山間地で高齢化が進んだことによる、公民館までの交通手段。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

コロナ禍ではあったが、感染防止対策を講じて、定員を密にならないようにし講座を開催し、住民の交流に務めた。

② 次年度以降の取組み

昨年度までから引き続き、人と人とのつながりが途絶えないように、交流しながらの講座を開催するとともに、施設の管理に務める。講座内容に話題のものを取り入れて、地域住民に多く参加していただけるようにする。